

# サギサギサミット「愛知はサギ天国？」

～サギに親しむ2時間～



**講師** (写真左から)

野鳥図鑑画家  
谷口 高司 さん

日本野鳥の会愛知県支部  
支部長

新實 豊 さん

日本野鳥の会愛知県支部  
副支部長

野澤 徹也 さん



## サギの魅力あれこれ

名古屋市環境学習センター「エコパルなごや」で12月21日、ふれあいトーク「サギサギサミット」が開催されました。

野鳥図鑑画家の谷口高司さんをはじめ、日本野鳥の会愛知県支部の新實豊さん、野澤徹也さんらサギ通のサギ通による、サギにまつわるオモシロ話から、県内に生息するサギの種類や、誰でも楽しく描けるサギのデッサンまで、盛りだくさんの内容を網羅。サギを身近に感じながら学ぶひと時が体験できました。

## 身近な存在の「サギ」

「サギにもいろいろありまして…」で幕を開けた今回のふれあいトーク。別名「白鷺城」と言われる姫路城、島根県の古典芸能「鷺舞神事」、下呂温泉の銘菓「しらさぎ物語」など、身近なところで「サギ」を見たり聞いたりする機会は意外と多いものです。一般的にサギというと、イメージされるのが「シラサギ」ですが、そのなかには大・中・小の3種類がいます。また、白くても「クロサギ」と呼ばれるサギや、ヨシ原に棲む「ヨシゴイ」など、一口にサギと言っても、いろいろな種類がいることが分かりました。

サギはサギでも、人をだます悪い「詐欺」もあります。皆さんも十分気を付けてください！

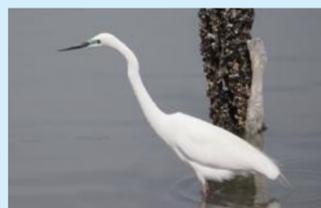


### 人とサギの共存をめざして

東名阪自動車道の弥富・蟹江ICがサギのすみか知られるようになったことをきっかけに、日本野鳥の会愛知県支部では毎年、春から夏にかけてサギコロニー調査を実施。近年ますます蟹江ICにサギが増え続けているようです。でも、それはサギが安心して暮らせる場所だということ。安住の地を守り、共存していくために私たちに何ができるのか、考えていかなければなりませんね。

※コロニー…集団繁殖地のこと。

## 身近で発見できる6種類のサギ



### ダイサギ

大型のシラサギ。首、脚、クチバシが長い。クチバシは夏羽では黒く、冬羽では黄色い。



### チュウサギ

中型のシラサギ(夏鳥)。ダイサギに比べてクチバシがやや短い。



### コサギ

小型のシラサギ。頭の2本の冠羽と、黄色い足指が特徴。クチバシが年中黒い。



### アマサギ

銚色(オレンジ)のサギ(夏鳥)。冬羽では全身真っ白になる。コサギよりも小さい。



### アオサギ

日本のサギ類の中で最も大型。首や腹が白く、背は青みがかった灰色をしている。



### ゴイサギ

夜行性のサギ。首が短く、ずんぐりとした体型がかわいらしい。

★クチバシや羽、目元、足などの色は季節によって変化します。

## 藤前干潟ふれあい事業ってなに？

伊勢湾の最奥にある「藤前干潟」は、渡り鳥の大切な中継地で、カニや魚など数多くの生きものも生息しています。藤前干潟ふれあい事業では、この「藤前干潟」の保全・活用を行っていくため、名古屋市や環境省、愛知県、NPOなどが協働し、通年で「藤前干潟」とふれあう様々なプログラムを企画しています。今回は、12月21日に行われた「ふれあいトーク」の様子をお届けします。



## 知って楽しい「サギのトリビア」

### サギは食べると旨いらしい

シラサギ⇒脂が少なく、あっさり。  
アオサギ⇒シラサギより優れた味。  
ゴイサギ⇒夏はアオサギ並み、冬は臭みがあり旨くない。

### サギは身だしなみが良い

足趾の先が櫛状になっている「くし爪」と、「粉綿羽」というパウダーで羽のお手入れ！



### サギには水かきが少しだけある

コサギの足趾の間には、小さな水かきがあり!!泥地で足が沈まないようになっていないのでは!?



### チュウサギの求愛

木の枝上で、足をカクンと曲げる反動により、背中の飾り羽をメスにアピール!クジャクのように広げる羽がとても美しい。

などなど、タメになる話からちょっと面白い話まで、楽しいトリビアで盛り上がりました!



## 誰でも描ける!!サギのミニデッサン

サギについて学んだら、最後は楽しいデッサン!講師の谷口さんが提唱する、タマゴ型をつなげて描く「タマゴ式」で、サギの体の構造を学びながら、子どもから大人までデッサンを楽しみました。



### 描くときのポイント

「長いクチバシ、長い首、長い脚」  
似ているようで似ていない、サギとツル

クチバシ:槍のように鋭い。エサを突き刺すため丈夫。

首:S字に曲がっている。飛ぶときに首を縮める。



足:木にとまるため、後ろ指がしっかりしている。

コサギ

首:まっすぐ。飛ぶときも伸ばしたまま。

クチバシ:小さな獲物を捕るため、長く鋭いが繊細。

足:湿地で生活し、木にとまることがないため、後ろ指が短い。



タンチョウ